

# 英語科学習指導案

- 1 単元名 ほしいものは何かな  
教材名 What do you want? (文部科学省 Let's Try! 2 Unit 7)

## 2 考察

### (1) 教材観

#### ①学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

#### ②主な伸ばしたい資質・能力

- ・食材の言い方や欲しい物を尋ねたり答えたりする表現への慣れ親しみ。
- ・欲しい食材を尋ね合ったり、オリジナルメニューを紹介したりする力。
- ・相手に配慮しながら、オリジナルメニューを伝え合おうとする態度。

#### ③そのために必要な学習活動

- ・つかむ過程  
楽しく果物や野菜の言い方に慣れ、欲しい物を尋ねたり答えたりする活動。  
(カルタ・カードゲーム)
- ・追究する過程  
児童が客役や店員役になり、買い物を楽しむ活動。
- ・まとめる過程  
慣れ親しんだ表現を使って自分が作ったオリジナルメニューを紹介し合う活動。

#### ④今後の学習の活用

- ・自分が気に入っている明和町内の場所を案内したり、その場所について自分の考えを伝え合ったりする活動。

### (2) 児童の実態及び指導方針 (31名)

#### ①既習の学習内容や活動

- ・児童はこれまでも音声で果物や野菜の名前に親しんできているため、本単元では欲しい食材を尋ねたり答えたりするための文表現につなげていく。
- ・Let's Try! 2 Unit 3 では"I like ~."の表現を、Unit 5 では"I have ~." "Do you have ~?"の表現を、Unit 6 では"How many ~?"の表現を学習してきた。これらの既習表現を本単元でも応用することで、買い物をしたり作ったパフェやピザを紹介したりする様々な活動に応じて、自分の意思を相手に伝えたり聞き取ったりする幅広い表現力を身に付けていく。

## ② 児童の実態

- ・ 毎時間書いている振り返りカードには、ほとんどの児童が達成感をもって授業を楽しんでいる前向きなコメントが書かれている。その時間に学んだことや気づきをしっかりとまとめられる児童もいる。コミュニケーション活動においては、少しずつ相手意識をもって会話ができるようになってきているが、やり取りの表現や回数が多くなると単語で済ませてしまう児童もいる。そこで、本単元ではコミュニケーションポイントを意識させる場面を多く作り、できるだけ文表現で複数回の会話が続くように支援をしていきたい。

## ③ 指導方針

### <つかむ課程>

- ・ 単元のゴールを教師のモデルで示して、児童に活動の見通しをもたせる。
- ・ 買い物のやり取りやパフェやピザの紹介に必要な語句や表現を、チャンツや音声教材を通して繰り返し聞かせ、慣れ親しませるようにする。
- ・ 世界各国の市場の動画を視聴しながら、日本で売られている食材との共通点や、その国ならではの珍しい食材や売り場の工夫に気付かせ、異文化理解を助ける。

### <追究する課程>

- ・ 店で買い物をする場面を設定し、役割練習を多く取り入れながら、欲しい食材の種類や数を複数回のやり取りを通して伝え合えるようにする。
- ・ 買い物の状況に応じて、欲しい食材が店になかった場合も、既習表現を使ったモデルを示しながらやり取りができるようにする。
- ・ パフェやピザに名前をつけてオリジナル感を出したり、家族のために作るという目的をもたせたりすることで、より意欲的な取り組みを促す。
- ・ 教師や児童のよいモデルを見せながらコミュニケーションポイントを押さえることで、児童がより分かりやすく丁寧なやり取りをイメージできるようにする。

### <まとめる課程>

- ・ 自分の作ったピザを友達に紹介する場面では、話し手と聞き手の双方に相手意識をもたせて、リアクションしたり感想を言ったりするなど、楽しく交流できるようにする。

## 3 単元の目標

- ・ 食材の言い方や欲しい物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・ 欲しい食材を尋ねたり答えたりするとともに、オリジナルメニューを紹介し合う。
- ・ 相手に配慮しながら、オリジナルメニューを紹介しようとする。

## 4 評価規準

知識・技能	欲しい食材を尋ねたり答えたりする言い方が分かる。
思考・判断 ・表現	パフェやピザを作るために、欲しい食材を尋ねたり答えたりしている。 既習の表現を使って、オリジナルメニューを紹介している。
態度	相手に配慮しながら、積極的に買い物のやり取りをしたり、オリジナルメニューを紹介したりしている。

5 指導計画（全5時間計画 本時は第4時）

学習過程	時	○ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点	評価の観点		
				知	思	態
つかむ	1	○食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり答えたりする表現を知る。 ・教師のピザの紹介を聞いて、単元のゴールを知り、見直しをもつ。 ・チャンツやカルタ、カードゲームを通して、欲しい食材のやり取りの仕方に慣れ親しむ。 ・世界の市場の様子を見て、日本と外国の食材の共通点や違いに気付く。	・チャンツやゲームの形式を変えながら繰り返し聞いたり言ったりすることで、買い物に必要な語句や表現に慣れ親しませる。 ・世界の市場の動画から、その国ならではの食材の豊かさや売り場の工夫を取り上げ、異文化理解を助ける。	○		
追究する	2	○欲しい果物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・チャンツや店員と客の役割練習を通して、買い物の表現に慣れ親しむ。 ・欲しい食材を売ったり買ったりしてオリジナルパフェを作る。	・店員と客とのやり取りが複数回続くように、買い物の表現を身に付けさせる。 ・作ったパフェに名前をつけることで、工夫しようとする意欲を高める。		○	
	3	○オリジナルパフェを紹介し合う。 ・デジタル教材を通して、作品を紹介するときの表現に慣れ親しむ。 ・パフェに名前を付けて紹介する。 ・友だちの紹介を聞いて、感想を伝える。	・パフェの名前や使われている果物について、相手意識をもって伝え合わせる。 ・会話を楽しむために、聞き手はリアクションや感想を伝える。		○	
	4 本時	○家族のためのオリジナルピザを作る活動を通して食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・欲しい食材を売ったり買ったりする表現を身に付ける。	・家族のために作るという設定で家族への想いを込めさせることで、学習への意欲を高める。 ・状況に応じた表現を使う。		○	
まとめ	5	○相手に配慮しながら、オリジナルピザを紹介し合う。 ・作品を紹介するときの表現を身に付ける。	・話し手・聞き手の双方に相手意識を持たせ、リアクションを交えた会話でコミュニケーション活動を行う。			○

6 本時の展開

(1) ねらい 家族のためのオリジナルピザを作る活動を通して、食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。

(2) 準備 教師：デジタル教材、ピクチャーカード、食材カード、リズムボックス  
児童：ピザシート、振り返りカード、バインダー

(3) 使用表現 May I help you? Yes, please. What do you want? I want ○○.

How many? ○○, please. Do you have ○○? Yes, I do. / No, I don't.

使用語句 mushroom, tomato, corn, greenpepper, pineapple, sausage, ham

(4) 展開

学習活動	時間	支援及び指導上の留意点 ◇評価	
		EAT	ALT
1. Greeting & Dairy Questions	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に挨拶をする。</li> <li>・質問をする児童を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に挨拶をする。</li> <li>・文字カードをボードに貼る。</li> </ul>
2. [Let's Chant] "What do you want?"	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で使う表現をリズムに合わせて言いながら、ウォームアップをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンを操作する。</li> <li>・児童と一緒に声を出し、楽しい雰囲気を作る。</li> </ul>
3. Demonstration ・今日のゴールを知る。	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあてを確認し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・客役として教師のモデルを見せて、今日のめあてにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店員役となり、楽しくやり取りをするモデルを見せて今日のゴールをイメージさせる。</li> </ul>
4. Today's Goal ・めあてをカードに記入する。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のめあてを提示しながら、相手意識をもつことを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にコミュニケーションポイントを確認させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     めあて：オリジナルピザを作るために、ていねいなやり取りで買い物をしよう。                 </div>			
5. Practice ・買い物のやり取りを練習する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムボックスを使って、テンポよく買い物の会話練習をする。</li> <li>・客の会話モデルになって繰り返し練習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に、リズムに合わせて練習する。</li> <li>・店員の会話モデルになって繰り返し練習させる。</li> </ul>
6. Demonstration ・状況に応じたやり取りを見る。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欲しい食材が売っていない場合は、既習表現の"Do you have ~?"が使えることを教師のやり取りから気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店員役として、売り切れの場合のやり取りを見せて、状況に応じた表現が使えるようにさせる。</li> </ul>
7. Activity ・買い物をしてピザを作る。	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの友だちとやり取りができるように、食材の種類毎に店を変えるようにする。</li> <li>・よいやり取りを賞賛しながら、買い物の支援をする。</li> <li>・上手なやり取りをしている児童に中間発表をさせ、後半の活動の達成度を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物がスムーズに行くように、とまどっている児童を支援する。</li> <li>・買い物を終えた児童と、質問やリアクションを交えながら、作ったピザについて交流させる。</li> <li>・児童の達成度を見取る。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     ◇【思・判・表】オリジナルピザを作るために、欲しい食材を尋ねたり答えたりしている。＜観察・振り返りカード＞                 </div>			
8. Reflection ・本時の振り返りをし、カードに記入する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに沿った振り返りをしている児童に発表させる。</li> <li>・次時の学習を伝え、単元のゴールに向けて意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力や態度面において、よかったところを賞賛する。</li> </ul>

